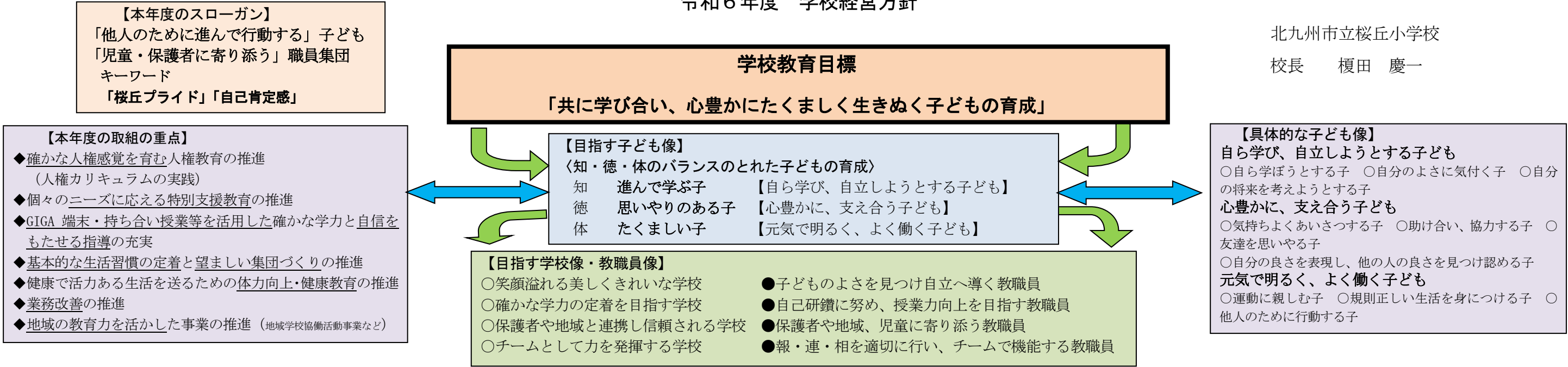




「学校教育目標」具現化に向けての具体的方策 ⇒ 大切にしたい3つの要素			
		I「学力」（伸びようとする力）	II「規律」（心地よい居場所）
		III「自己肯定感」（自信）	
《Ⅰ 学力》【学力向上に向けた職員のチームづくり】 ① 主題研究の推進（特別活動の研究推進・望ましい人間関係） ② 社会の変化に対応する資質や能力の育成（外国語活動、GIGA活用、道徳科の実施、主体的・対話的で深い学びの育成） ③ 合理的配慮を含めた特別支援教育の充実（ケース会議） ④ 職員研修の充実（OJT） ⑤ 連携・学力向上のための持ち合い授業の推進 ⑥ 学習機会の拡充と学習内容の定着（意欲的に取り組む家庭学習の工夫） ⑦ 言語活動の充実、学び合う授業の創造（はなす・かく）		《Ⅱ 規律》【規律ある学校生活づくり】 ① 子どもの居場所づくり（全教職員による組織的な取組） ② 生徒指導の充実（共通理解、早期発見と適切な対応、問題事象への緊急対応） ③ 学校のきまり、学びの約束の徹底（あいさつ、言葉づかい等） ④ 子どもの自治力の育成（兄弟学年活動・フロアリーダー等） ⑤ 職員の危機管理意識の高揚（不祥事防止、体罰、飲酒運転、ハラスメント等 安全対策 不審者対応、自然災害等） ⑥ 地域の教育資源や教育力の有効活用（地域学校協働活動事業）	
		《Ⅲ 自己肯定感》【自己目標達成の環境づくり】 ① 支持的風土に支えられた学級づくり（学級集団づくり） ・人権意識に支えられた互いのよさを認め合う人間関係づくり ・目標の設定と振り返り ② 地域と連携する学校（学習参観、開放週間、学校評価等） ③ 家庭と連携する学校（学級懇談会やPTA活動等） ④ 関係機関との組織的な取組（スクールカウンセラー、SSW、子ども総合センター等） ⑤ 情報の発信（学校HP、学校だより、学年・学級だより 家庭訪問等）	
＜道徳＞ ○「違いを認め・実践力を身に付ける道徳」の授業の推進 ○自立心・自律性・自尊感情を育てる指導の充実（励まし、認める評価） ＜教科指導＞ ○基礎的・基本的な内容の習得と活用力の育成（書く、話す等） ○生きる力の基盤となる「言語活動」の充実と学び合いの基盤づくり ＜特別活動＞ ○学級活動の充実（学級会を通しての自治的な実践と自己決定の重視） ○縦割り活動の充実（異年齢集団で協力し、より良い人間関係を形成） ＜外国語活動・外国語科＞ ○体験と実践意欲の育成 ＜総合的な学習の時間＞ ○特色ある探究的な学習の充実 ＜健康教育＞ ○発達段階に応じた系統的な健康・発育指導と日常の健康観察の徹底		＜食育＞ ○給食指導、学年に応じた食習慣の形成 ＜生徒指導＞ ○関係機関との連携及び、いじめ・不登校対応（毎週の生徒指導報告会） ○定期的な教育相談の充実 ＜人権教育＞ ○児童支援加配教員を中心に、地域の実態をふまえた人権感覚の育成 ○人権・同和問題の認識と実践力向上のための職員研修 ＜特別支援教育＞ ○特別な支援を要する児童への適切な指導・支援 ○校内支援体制の組織化と情報の共有化、関係機関との連携 ＜安全・防災教育＞ ○火事・地震・不審者等、災害発生時の適切な行動の育成 ＜キャリア教育＞ ○大人との交流を通して、自分の将来を考える機会の設定	
		＜学校図書館教育＞ ○学習センター、情報センターとしての環境整備 ＜環境教育＞ ○地域を愛し自主的に参画する態度の育成 ＜情報教育＞ ○GIGA 端末活用能力の育成と指導の工夫 ○情報モラルの指導の徹底（SNS対応等） ＜国際理解教育＞ ○自文化の理解と異文化の尊重のための体験活動 ＜福祉教育＞ ○生命を尊重し、他人を思いやる心の育成 ○様々な立場の人と共に生きる態度の育成	
「チーム桜丘」として大切にしたいこと！ ○風通しの良い職場（「情報・連絡・相談・報告」等） ○来校者・保護者への対応（温かく寄り添う姿勢） ○温かい電話対応「桜丘小の〇〇です」 ○適切な遅刻・欠席・ケガ対応 ○協働を意識した確実な提出期限の厳守 ○守秘義務 ○不祥事ゼロ ○児童を全教職員で「育てる」			